

第15期

運用報告書(全体版)

中小型成長株オープン (愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)

【2021年9月6日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「中小型成長株オープン（愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン）」は、2021年9月6日に第15期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2014年3月10日から2024年3月4日までです。
運用方針	主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 分 配 金		期 騰 落 率		日経ジャスダック平均株価 (参考指数)		株組入比率	株先物比率	純資産額
		税 分	配 金	騰 落	率	期 騰 落	中 率			
11期(2019年9月4日)	円 19,652		円 0		% 1.8	円 3,295.28	% △5.8	% 96.1	% —	百万円 1,617
12期(2020年3月4日)	16,618		0		△15.4	3,381.55	2.6	90.9	—	1,177
13期(2020年9月4日)	21,989		0		32.3	3,530.10	4.4	97.0	—	1,342
14期(2021年3月4日)	22,723		0		3.3	3,777.36	7.0	93.7	—	782
15期(2021年9月6日)	25,767		0		13.4	4,044.05	7.1	95.7	—	748

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 日経ジャスダック平均株価は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率		日経ジャスダック平均株価 (参考指数)		株組入比率	株先物比率
		騰 落	率	騰 落	率		
(期首) 2021年3月4日	円 22,723		% —	円 3,777.36	% —	% 93.7	% —
3月末	24,056		5.9	3,938.63	4.3	94.2	—
4月末	23,547		3.6	3,895.20	3.1	95.5	—
5月末	23,063		1.5	3,890.77	3.0	94.9	—
6月末	24,226		6.6	3,997.50	5.8	94.8	—
7月末	24,546		8.0	3,953.15	4.7	94.5	—
8月末	25,283		11.3	3,984.59	5.5	96.2	—
(期末) 2021年9月6日	25,767		13.4	4,044.05	7.1	95.7	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2021年3月5日～2021年9月6日）



期首：22,723円

期末：25,767円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：13.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、日経ジャスダック平均株価です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2021年3月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、サービス業、精密機器、小売業などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、GCA、JMDC、タムロンなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、情報・通信業、医薬品、化学などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、モダリス、Edulab、マクアケなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2021年3月5日～2021年9月6日）

国内株式市場は、堅調な推移となりました。2021年3月から8月にかけては、先進国を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、死亡率や重症化率が低下したことで経済活動の正常化による景気や企業業績への回復期待が高まる局面があった一方、感染力の強い新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）の感染者数の増加懸念が上値を抑える展開となりました。期末にかけては、菅首相の退陣表明を受けて新政権の打ち出す経済対策への期待が高まったことや、首都圏の新型コロナウイルスの感染状況にピークアウトの兆しが見られたことなどが好感され上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年3月5日～2021年9月6日）

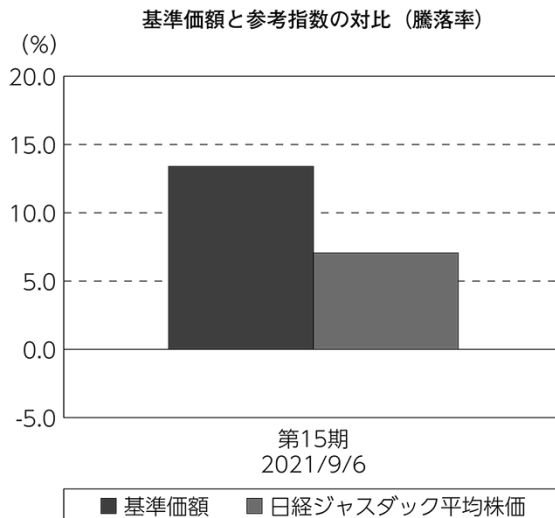
当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長ポテンシャルや株価指標面での割安感などに着目して銘柄選別を行いました。

具体的には、各種サービスの利用企業数の増加により収益拡大局面を迎えたと判断したSpeeeや、土木・農業のIT化の流れを追い風に会社計画を上回る利益成長が期待されるトプコンなどを買い付けました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う業績への悪影響が懸念されたEdulabや、売上高成長率の鈍化が懸念されたマクアケなどを売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年3月5日～2021年9月6日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている日経ジャスダック平均株価の騰落率を6.3%上回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、日経ジャスダック平均株価です。

分配金

（2021年3月5日～2021年9月6日）

当ファンドは毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ分配金額を決定します。

当期の分配につきましては、基準価額水準が当初元本を上回っておりますが、投資信託財産の成長に重点を置くこととし、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第15期
	2021年3月5日～ 2021年9月6日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,766

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は当面、方向感に乏しい動きになると思われれます。足元の経済は、コロナ禍によって押し下げられた水準から急速に回復する時期が終わり、巡航速度へ戻りつつあるように見られます。また、自民党総裁選や衆議院総選挙を控え、与党・内閣の人事や政策動向を見極めたいとの心理が強まりやすい時期を迎えます。株価に対する好材料・悪材料が混在する状況が想定され、結果として不安定な相場展開を余儀なくされるのではないかと考えております。

当ファンドの運用につきましては、相対的に時価総額が中小型規模の銘柄の中から、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。

今後の運用につきましては、中期的な利益成長が期待されるITサービス株を軸としながら、個別銘柄の短期的な業績動向や株価動向に応じた組入比率の調整を行うことで、基準価額の上昇を目指してまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年3月5日～2021年9月6日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	115 (54)	0.476 (0.224)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(54)	(0.224)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	60	0.247	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(60)	(0.247)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	176	0.729	
期中の平均基準価額は、24,120円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

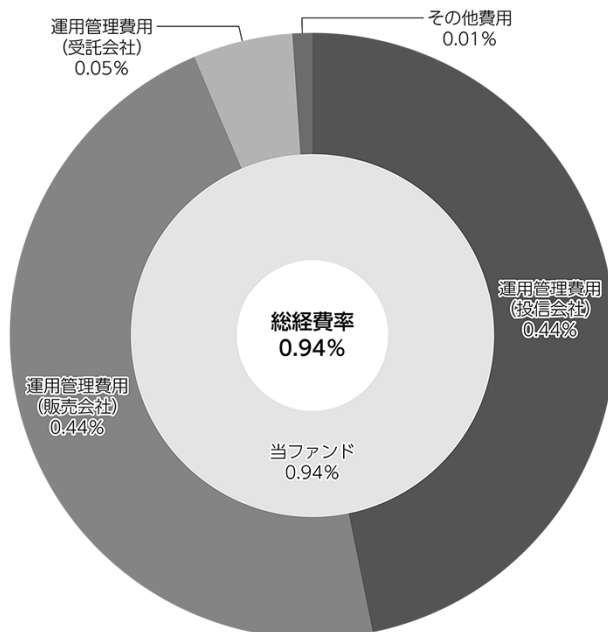
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2021年3月5日～2021年9月6日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		473	969,213	537	1,081,102
		(0.72)	(-)		

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

（注）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2021年3月5日～2021年9月6日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,050,315千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	726,937千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.82

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2021年3月5日～2021年9月6日）

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 969	百万円 122	% 12.6	百万円 1,081	百万円 194	% 17.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,893千円
うち利害関係人への支払額 (B)	305千円
(B) / (A)	16.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2021年9月6日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
化学（-％）			
トリケミカル研究所	7.8	—	—
医薬品（-％）			
モダリス	12.5	—	—
ガラス・土石製品（3.5％）			
東洋炭素	—	8.5	25,228
鉄鋼（3.2％）			
日本精線	—	4.6	23,000
機械（9.6％）			
F U J I	11	—	—
A C S L	4.7	—	—
ブリュエ	26.7	14.6	23,141
ホソカワミクロン	—	3.7	24,975
スター精密	18.2	12.9	20,756
電気機器（3.5％）			
山洋電気	3.4	—	—
ワコム	41.4	—	—
アンリツ	14.5	—	—
メイコー	—	8.4	24,746
アパールデータ	6.3	—	—
精密機器（10.0％）			
日本エム・ディ・エム	13.4	—	—
トプコン	—	15	28,635
タムロン	18.2	16.4	43,033
電気・ガス業（3.4％）			
レノバ	5.6	4.9	24,010
情報・通信業（28.6％）			
エムアップホールディングス	—	6	18,060
セレス	6.9	—	—
ヴィンクス	13.2	—	—
GMOグローバルサイン・ホールディングス	—	4.2	21,672
B l u e M e m e	—	6.4	14,470
ブラスアルファ・コンサルティング	—	3.8	10,013
ブレイド	4	—	—
ココベリ	1.1	—	—
ヤブリ	2.3	—	—
c o l y	0.5	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
ラクスル	—	3.9	23,166
E d u L a b	6.2	—	—
ミンカブ・ジ・インフォノイド	10.7	9.6	39,360
S a n s a n	—	1.6	18,896
マクアケ	4.8	—	—
J M D C	6.3	3.9	29,952
S p e e e	—	6.5	28,860
卸売業（10.8％）			
あい ホールディングス	7.9	—	—
BuySell Technologies	—	5.7	24,624
長瀬産業	—	14.4	27,316
トラスコ中山	—	8.5	25,236
小売業（8.5％）			
物語コーポレーション	—	2.8	19,264
シュッピン	28.7	—	—
オイシックス・ラ・大地	10.1	6.3	24,412
あさひ	13.4	—	—
TOKYO BASE	14	—	—
V Tホールディングス	—	30.4	17,388
保険業（2.1％）			
アニコム ホールディングス	—	17.2	15,394
その他金融業（3.4％）			
全国保証	—	4.4	24,420
イー・ギャランティ	12.7	—	—
不動産業（3.0％）			
シーアールイー	—	11	21,208
サービス業（10.4％）			
新日本科学	—	18.7	16,156
ワールドホールディングス	10.9	—	—
ジャパンマテリアル	—	14.1	18,597
F a s t F i t n e s s J a p a n	2.4	5.2	24,050
ステムセル研究所	—	3.2	16,032
合 計	株数・金額	339	276
	銘柄数<比率>	31	31

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
 (注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年9月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	％
コール・ローン等、その他	716,075	90.7
投資信託財産総額	73,775	9.3
	789,850	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年9月6日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	789,850,077
コール・ローン等	39,511,149
株式(評価額)	716,075,800
未収入金	33,691,328
未収配当金	571,800
(B) 負債	41,270,794
未払金	30,361,670
未払解約金	7,207,166
未払信託報酬	3,658,753
未払利息	30
その他未払費用	43,175
(C) 純資産総額(A-B)	748,579,283
元本	290,522,580
次期繰越損益金	458,056,703
(D) 受益権総口数	290,522,580口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,767円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.5767円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は344,243,753円、期中追加設定元本額は52,281,512円、期中一部解約元本額は106,002,685円です。

○損益の状況（2021年3月5日～2021年9月6日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	5,300,649
受取配当金	5,305,042
受取利息	54
その他収益金	795
支払利息	△ 5,242
(B) 有価証券売買損益	82,120,505
売買益	176,494,629
売買損	△ 94,374,124
(C) 信託報酬等	△ 3,703,318
(D) 当期損益金(A+B+C)	83,717,836
(E) 前期繰越損益金	27,856,452
(F) 追加信託差損益金	346,482,415
(配当等相当額)	(215,920,896)
(売買損益相当額)	(130,561,519)
(G) 計(D+E+F)	458,056,703
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	458,056,703
追加信託差損益金	346,482,415
(配当等相当額)	(215,920,896)
(売買損益相当額)	(130,561,519)
分配準備積立金	111,574,288

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第15期
(a) 配当等収益(費用控除後)	5,076,228円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	78,641,608円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	346,482,415円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	27,856,452円
分配対象収益(a+b+c+d)	458,056,703円
分配対象収益(1万口当たり)	15,766円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。